

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県戸部警察署協議会
日時	令和6年1月31日(水)午後1時58分から午後4時までの間
場所	神奈川県戸部警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 生貝陽子 井上康久 加藤善浩 金田有紀 鈴木弘文 榑崎佳代子 古屋慶明 松本康二 三宅一彦 山口喜久雄 渡邊尚美 計11人</p> <p>2 警察署側 署長 永野進 会計担当次長 柳川正義 地域担当次長 向井瑞樹 刑事兼生活安全担当次長 尾崎幾郎 警備担当次長 中村敦 警務課長 木村大介 生活安全課長 塩見征司 交通課長 福島崇 計8人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>1 諮問 「警察におけるハラスメント防止対策」</p> <p>2 答申 何が各種ハラスメントに該当するのか、同じ言動でも、相手によっては受け止め方が千差万別で、無意識のうちにハラスメントを行っているかもしれない。 したがって、これまでの固定観念や慣習に囚われず、ハラスメントが人権問題や労働問題に発展するような重大事案であると認識し、現行の防止策の徹底、及び組織幹部を筆頭とした啓発研修活動や、良好な信頼関係の構築を常に心掛けるとともに、万が一ハラスメント事案が発生した場合は、相談者が更なる被害や不利益を受けないように配慮しつつ、組織として厳正公平な判断と迅速な対処を行ってほしい。</p> <p>3 措置結果 (1) 現行の防止策の徹底 ア 各種教養の実施 関係部署と連携してハラスメント防止に向けた各種教養を実施している。 イ ハラスメント相談員会議の開催 ハラスメント防止対策の一環として、当署ハラスメント相談員に指定されている署員による所属会議を開催し、署員からの相談対応要領など、具体的な事例を想定しながら個別検討した。 (2) 組織幹部を筆頭とした啓発研修活動 ア 署幹部による啓発活動 毎週開催している署幹部会議や、毎月全署員が参加する招集日において、幹部によるハラスメント防止対策についての教養を定期的に発信し、署員の意識付けを行った。</p> <p style="text-align: center;">諮問</p> <p>雑踏警備対策</p> <p style="text-align: center;">答申</p>

大規模イベントなどの開催にあたっては、事前の実地調査や主催者との入念な打合せ、広報活動はもちろんのこと、必要であれば交通規制なども検討し、その実施結果についても検証を図り、前例踏襲とならないよう、常に細心の警備計画を策定してほしい。

また、混乱と無秩序に陥りやすい雑踏において、警察官が現場の状況及び情報を的確に判断して、警察官の姿が見える、誰にでも分かりやすく安心感を与える広報活動や誘導など、適切な現場活動を行ってほしい。

業務説明

前四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和6年1月から3月まで）の業務推進重点について説明を行った。